



# STOP! 介護崩壊 介護ウェブ推進ニュース — 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

## 「介護の日」全国一斉行動で、日本全国に「介護ウェブ」の荒波!

### 「介護の日」行動 四条河原町で1時間訴え! (京都)

四条河原町で1時間、「介護の日」現場からの告発行動に33名が参加しました。ケアマネジャー、訪問介護事業所、デイサービス、老人保健施設の各職員、介護福祉部部長の三浦医師が車上から介護改善を訴えました。修学旅行にきていた生徒が「うちにもおばあちゃんいるし」と言いながら次々と署名に応じていました。「取り過ぎた介護保険料 高齢者に還元して!」の京都独自ビラも作成し、ノボリ20本、横断幕、垂れ幕ありのにぎやかな宣伝となりました。



介護の日に先立ち前日には、京都市介護保険課に要求書を提出、マスコミ回りも行いました。車上で初めてマイクを握った介護職員は「とっても緊張した。でもまたしてみたい。今年のこうした活動もいよいよ僅かとなったが、介護保険制度見直しを訴えるため、職場のみんなできり組んでいきたい」と語っていました。京都では、次の取り組み11月23日の「介護ウェブ～介護保険の改善を願うみんなのつどい～」の成功に向けて引き続き奮闘します。(2008.11.12京都市民医連事務局 川見さんより)

### 「介護の日」昼休み行動でパレード行進 (長崎)

「介護の日」パレードは13時に市役所前を出発、県庁前までの官公庁大通りを通り、買い物客で賑わう築町市場前から、長崎一の繁華街「浜の町アーケード」を通り抜け、介護制度改善を訴えました。パレードには、長崎民医連の院所・事業所、特養青葉苑などから約50名が参加。おもいおもいのプラカード、介護職場からの寄せ書きをつづった横断幕、風船で、にぎやかな行進となりました。

大浦診療所デイサービスが作った横断幕や、介護ウェブ長崎へ向けて作成した介護職場の寄せ書き幕も大活躍でした。全日本民医連の「のぼり旗」も初お目見えです。大丸デパート前での署名行動では、おおいに人目を引き、短時間で61筆の署名が集まりました。通りすがりの外人観光客たちから興味津々に「何をしているのか」と聞かれ、なんと説明したものか…「え〜っと、『介護』って英語でなんて言うんだっけ?」と大騒ぎになる一幕もありました。デモ行進に参加するのも初めてという介護職員も多く、はじめはおっかなびっくりでしたが、好意的な反応に元気よく行動、これからもがんばらねば。この行動の様子は、今朝の長崎新聞に掲載されたほか、ホームページには動画入りで紹介されています。(2008.11.12 長崎民医連 柴田さんより)

(長崎新聞動画 <http://www.nagasaki-np.co.jp/kiji/20081112/06.shtml>)



## 「介護の日」街頭宣伝行動 職員・組合員42名が参加（和歌山）

11月11日、午後1時からJR和歌山駅前で、組合員6名の参加もあり、42名で元気よく宣伝・署名行動を行いました。11月6日に県政記者室で記者会見したものの、当日マスコミの取材がなかったのは残念ですが、約30分間の行動で、全日本民医連「介護改善ピラ」約300枚余を配布。集めた署名（中央社保協介護署名）は137筆でした。写真ニュースとして紹介します。

（和歌山民医連 介護ウェブ 2008.11.12 第13号より）



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp